第3114回 例会記録
２０１５年12月14日

甲府ロータリークラブ会報

甲府市相生２丁目２－17
電話　055－237－5475
www.kofu-rotary.gr.jp
info@kofu-rotary.gr.jp

世界へのプレゼントになろう

2015－'16年度 甲府RC会長テーマ「足元から」

会　長　進藤哲雄
副会長　由井久夫
副会長　細田　俊
幹　事　山口高明

12月23日 第3115回 例会プログラム

年忘れ家族例会
於 甲府富士屋ホテル　点鐘 16:30
●年次総会
●懇親会 17:30より
●歳末助け合い募金

本日のメニュー

特別メニュー

次回例会

１月８日（金）
新年夜間例会
於 ホテル談露館　点鐘 18:30
●職場訪問例会のご案内
●米山奨学金の贈呈
●HFに御礼と交換学生にお小遣いの贈呈

甲府ＲＣ携帯サイト
www.kofu-rotary.gr.jp

Rotary Song　それでこそロータリー　ソングリーダー　角田武一

会長挨拶

会長　進藤哲雄



次回例会はもう今年最後の年忘れ例会です、あっというまに一年が過ぎていきそれが歳とともに早くなるような気がしますが、今年一年つらかった事、大変だった事も忘れるような楽しい会にしたいと思いますので、ご家族お誘いあわせの上ご参加ください。

本日は恒例の日銀支店長谷口文一会員に「2016年経済講演」と言う事で来年2016年の経済状況に関して卓話をいただきます。願わくば、来年が我々地方の経済にとって明るいお話が聞ければと思いますがよろしくお願い致します。

ガバナー事務局の河西様のお父様がお亡くなりになりました18日19日が通夜、告別式だそうですが、詳細に関しては新聞とうでご確認ください。

では今日の一句です。

飯田龍太　雪の日暮れは　いくたびも読む文のごとし

会長挨拶を終わります。

幹事報告

1）例会変更

甲斐ＲＣ　１月４日（月）→１月12日（火）19:00
椿　新年例会

甲府北ＲＣ　１月６日（水）12:30
護国神社　新年祈願例会
１月13日（水）→１月９日（土）12:30
甲府駅北口　小作
甲府駅北口イベント「お正月を遊ぼう」参加

甲府南ＲＣ　１月12日（火）12:30
稲積神社　新年祈願例会

2）12月21日の例会は年忘れ家族例会のため12月23日（水・祝）に変更となります。点鐘は午後４時30分、会場は甲府富士屋ホテルです。先週に引き続き、回覧を廻しておりますので、ご記入をお願い致します。また、当日はご家族席を決めさせて頂きますので、後日ご家族のご出席等に変更があった場合は、事務局までご報告お願いいたします。

3）12月28日は特別休会となります。

4）来年１月の第一例会は１月８日（金）新年夜間例会となります。点鐘は午後6:30　会場はホテル談露館です。本日回覧を回しておりますので、ご出席の確認をお願いいたします。

尚、例会開催前 午後5：30より同会場にて第８回理事会を開催いたしますので､関係各位のご出席をお願いします。

5）本日お配りしております、「ロータリーの友」横組み41ページに「日台ロータリー親善会議」のご案内があります。参加ご希望の方は、事務局にお申し出ください。

6）ロータリーレート　12月　１ドル＝120円

出席報告

（敬称略）

（会員数　１１３名）

	出席者数	出席率
本日の出席	93/109	85.32％
前々回の修正	103/108	95.37％

（出席免除会員18名）

〔本日の欠席者〕
天野、池谷、小俣、木田、佐々木、篠原、清水（修）、田中（司）、田邊（護）、髙村（隆）、成澤、野原、松村（昌）、三神、望月、渡辺　以上　16名

〔出席免除会員の本日出席者〕
飯島（忠）、長田（眞）、金丸、笹本、新海（照）、新海（治）、田中（好）、深澤、古屋、丸茂（紀）、宮城、山本（孝）、横山、西川（一）

〔他ＲＣに出席及びメークアップ会員名〕

12月11日	甲府東ＲＣ	雨宮（哲）、深澤
12月12日	地区諮問委員会	野口、髙野、鶴田、古屋、土屋、梅本、五味、松村（秀）、川上
12月14日	麹町ＲＣ	木田

■本日のゲスト
米山奨学生　鐘 佑希さん

■2016年経済講演

日本銀行甲府支店 支店長　谷口 文一 会員



11月時点における山梨県内景気に関して、個人消費については、自動車販売で弱めの動きがみられるものの、大型小売店売上高等の堅調さをみても、全体としては底堅く推移していると判断しています。一方、生産については、中国での設備投資の減少の影響を受けているものの、全体としては下げ止まりを窺う動きになっていると判断しています。

現在、日本銀行が取り組んでいる量的・質的金融緩和に関して、前年比プラス２％を目標としている全国の消費者物価指数（除く生鮮食品）については、10月はマイナス0.1％となりましたが、主な要因は昨年後半からの原油価格の急激な下落です。この要因を除いた消費者物価指数（除く生鮮食品・エネルギー）は、足許前年比プラス１％強で推移していて、物価の基調は着実に改善しています。来年入り以降は、原油価格下落の影響が剝落するのに伴って、消費者物価指数（除く生鮮食品）は上昇率を高めていくと考えられます。

来年を展望すると、個人消費のマインドに関しては緩やかに改善しています。また、生産に関しては、全国的にみると機械や電子部品関係で改善傾向にある中、これらの業種が占める割合の高い山梨県の生産動向が注目されます。今後の生産動向に影響を与える大きな要素としては、中国経済の動向が挙げられます。中国におけるPMI（購買担当者景況指数）をみると、製造業については弱い動きが続いていますが、非製造業は好調を維持しています。また、本年前半の中国経済の弱さの一因となった地方財政の支出についても、最近は伸びを高めています。こうした政策対応の効果もあり、目先は成長率が高まる方向にあると考えられます。もっとも、高成長から安定成長への移行過程において、過剰設備などの構造的な問題が長期化するリスクがあることは認識しておく必要があります。

企業の収益が高水準で推移する中、景気回復の足取りが確かなものとなるかという点に関しては、設備投資と賃金の動向に注目しています。ここ山梨県における設備投資については、リーマンショック後回復基調が続いており、今年度も高い伸びを示した昨年度を上回る投資計画が立てられています。前向きな設備投資が高水準で行われることになれば、景気を下支えするとともに、県内企業の競争力強化にも繋がるものと考えられます。また、個人消費を左右する重要な要因となるのは、雇用・所得環境です。所得については、ここ数年、山梨県内でも着実に改善していますが、労働分配率は低下傾向にあるとみられます。

企業が保有する現預金がこのところ一段と高い水準に積みあがっていることからみても、なかなか積極的な企業行動に踏み出せない企業も多いことが窺われますが、緩やかに物価が上昇していく社会では前向きな設備投資や更なる生産活動のための労働力確保に向けた賃金の引き上げ等に踏み切っていくことが重要になってきます。

県内企業経営者の方々とお話して課題として感じるのは、人手不足への対応です。人口が減っていく中、特に女性および高齢者が働きやすい環境を整備することが、優秀な労働力確保の上で重要になってきます。

また、人口減少社会においては、労働生産性を高めることも重要です。経済産業研究所と一橋大学経済研究所による研究によれば、2009年時点において、山梨県の労働生産性は47都道府県中36番目であり、改善の余地があります。また、地域間の労働生産性の格差について、労働の質、資本装備率、全要素生産性の３つに要因分解すると、全要素生産性の格差のマイナス寄与が最も大きいことがわかります。これは、当地企業における技術進歩が他地域比で劣っていることを表しています。技術進歩といっても、新製品の開発だけではなく、より広い範囲での企業間連携等を通じた販路拡大や新たなサービスの提供なども該当します。山梨県は小規模企業の比率が高いという特徴がありますが、小規模企業の場合は自社だけでこれらの対応を行うことには限界があるため、地方公共団体や金融機関などの持つ情報やネットワークも活用しつつ、技術進歩を不断に進めていくべきと考えられます。

最後に、山梨県は全国的に見ても資金需要が弱く、低い金利水準にもかかわらず、貸出金残高の前年同月比がマイナスとなる月が多くありました。10月末時点では、前年同月比プラス0.9％ですが、全国で44番目と低くなっています。設備投資や人手不足対策などのための前向きな資金需要に繋げていくことも来年の山梨県経済の発展に向けた重要な課題です。

（敬称略）

ニコニコボックスご利用のかたがた

甲府ＲＣ

谷口　文一　本日、卓話を行わせて頂きます。どうぞよろしくお願いします。

進藤　哲雄、山口　高明
谷口会員、気持ちが明るくなるお話を宜しくお願い致します。

卓話 テーマ「2016年経済講演」日本銀行甲府支店　支店長
谷口文一会員よろしくお願い致します！

土屋　和巳、岡本　洋祐、遠山　　薫、有井　　昇、
磯部　　優、清水　元章、柴山　　聡、笹本　森雄、
内海　公博、山本　孝夫、丸茂　紀彦、新海　治夫、
田中　好輔、森　　隆行、加藤　吉一、内藤　民部、
平嶋　育造、井上　俊和、加藤　千典、阿閉　正強、
斎藤　訓彦、杉本　裕昭、中村　国男、上原　勇七、
飯野奈津子、雨宮　俊彦、山寺　戦治、川上　明彦、
阪口　　仁、五味　　晃、飯嶋　　均、丹沢　良治、
田辺　公久、熊倉　浩高、山内　大輔、高嶋　英一、
秋山　仁博、上原　重樹、小林日登士、野口　英一、
依田　訓彦、鶴田哲嗣郎

本日ニコニコ金額	35口 35,000円
ポリオプラス資金へ繰入	3,500円
ポリオ資金累計額	84,700円

（会報委員　磯部　優）